



新規シミュレータモデルのおしらせ

新たに、気管挿管モデル・点滴静脈・採血モデルが入りました
《気管挿管モデル》



チームで学ぶ挿管介助
より安全な挿管介助

《こんな演習ができます》

◆技術研修時の挿管介助

- ・気管チューブの固定
- ・バイトブロックの固定・褥瘡を防止する固定
- ・バッグバルブマスク法；胸部の動きが確認できます
- ・挿管後聴診器で送気音の確認ができます

◆医師と一緒に行う救急シミュレーションでは

- ・正常と頸部後屈患者さんの設定での演習
- ・口腔から鼻腔入れ替えの演習など

《点滴静脈・採血モデル “Vライン”》



基本を押さえた一連の手技の
演習ができます

《こんな演習ができます》

- ・2か所の部位の演習可能；前腕正中皮静脈・背側中手静脈
- ・静脈留置針刺入～固定；刺入時の**逆血の確認**ができます
- ・輸液の自然**滴下確認**ができます

※医療情報端末にシミュレータモデルリストが載っています
※貸出し窓口；キャリア支援室 (内) 7807

キャリア支援室 新年度メンバー

キャリア支援室は加賀沼副師長が新たに加わりスタートしています。今年もフルキャスト・最強キャストで頑張ります。



他部署研修 紹介

他部署研修は、新人教育プログラムにおいて、自部署で経験する機会の少ない技術を体験し、今後の目標達成や看護師としての成長につなげることを目的に、部署が企画し行っています。

平成26年度は1～2月に3部署が他部署研修を行いました。11-1、6・7-1は新人看護師がそれぞれ6-2、8-2へ、9-2は2・3年目看護師が9-1で研修を受けました。11-1、6・7-1の新人看護師、11-1担当副師長から学びを聞きました。

11-1 新人看護師：「他部署研修前にキャリア支援室フリー研修で、吸引や経管栄養などの技術基準を再確認し臨みました。実際の患者さんに行う技術は、基準に則り、その患者さんに合った安全で、安楽な方法を行う必要がわかりました。」

6・7-1 新人看護師：「忙しい中で、処置・ケアの準備をしっかり行うことで効率よく患者さんへ対応する、患者さんへの言葉かけ、観察から先を見越した関わりをしていた事を学びました。」今後、自部署での看護に役立てたいと話されていました。

11-1 朝井副看護師長：「新人看護師は技術を実際の患者さんに体験したことが自信になり、研修後は新たな場面でも積極的に取り組めるようになり、成長につながっています。」

キャリア支援室は、他部署研修前の技術のサポート、企画運営をしていく上での情報提供などを行っています。

今年度、新たに他部署研修を検討している部署は、キャリア支援室が協力いたします。ご連絡ください。



6・7-1のスタッフ



11-1のスタッフ

部署内研修紹介(4-1 病棟)

4-1では、4月15日、床上安静患者への生活援助技術の講義と演習を行いました。流産の危険から安静が必要な妊婦も多く、床上でのスキンケア、口腔ケア、食事介助など患者役も体験しながら安全・安楽に実施する方法を学んでいました。どのような動きや姿勢が腹部に負担をかけるかの説明を受け、具体的に



助言を受けていました。受講した新人の皆さんは、「実際に行うことで、方法が理解できた」「患者の大変さや、援助のコツも理解できた」と感想を述べていました。